

# 林 愼 小 煩 遊

報 寺 寺 正 順

平成30年  
正月

## 修正会

## お初座

一月七日（日）

午後一時より

お初座読経

法話

おとき（勝手に順正寺名物を名告る

大根炊き他）

福引

本年最初の法座です。ほとけさまにごあいさつしましょう。

ここ数年、おときでお出ししている大根炊きは好評につき勝手に順正寺名物を名告る事にしました。そのほかお酒もちよっぴり用意しています是非お参り下さい。みんな楽しくワイワイやりましょう

尚、お寺での法要（お彼岸、お盆、報恩講）などどんな服装で参詣すれば良いのかよくご質問があります。決まりはありません。普段着で気軽にお参り頂ければと思います。まあ欲を言えば年に数回のご参詣、華やかに、賑々しくおいで下され！

新しい年をお迎えになられましたことお慶び申し上げます

さて、十二月三十一日と一月一日の違いと六月三十日と七月一日の違いは無いと言えは無い。何れも日が明けて月が替わるだけなのだが何故か違う。

お寺は大晦日まで絶賛営業中で元旦から来客もあるしお正月といってもそれは普段の生活と変わることがない。若い頃は「何が正月だ、何がめでたい」と白けてみたが最近は日々変化がないからこそけじめをつけられるお正月は有り難く思う。前にも書いたが私はラテン系なので明日やれることは今日やらない主義（勝手なイメージで名乗って、ラテンの皆様申しわけありません）、「めんどくさいことは先延ばし」方式を是とする人生観なので色々な事がどんどん溜まっていく

で十二月の声を聴くところや大変と溜まった事柄を

片付ける。そして多少、いやかなり出来なくても正月で気分的にリセットして、よし今年こそは「今日できることは今日やる、明日に持ち越さない」方式を採用しようと思つて決心する。そして実に清々しい気分になるのだ。

これは私にとって、とても大事なことだと最近思う。先にも書いたが一年365日ずっと同じ感じでバタバタ走り回っているとしまいいには気持ち煮詰まってくる。環境や状況は変わらずとも気持ちの面でリセットできるだけでも解放される。

どーこの誰かは知らないけれど時間を発見した人に感謝しそれを日、月、年と区切ってけじめを作ってくれた先人の知恵に感謝します。

今年も皆様、ご一緒に浄土への道を歩みましょう。

住職

新年のご挨拶を申し上げます。

ここ数年、何かとサボりまくって来てしまつたなあ、と、感じさせられてます。結局、わたしは、人から押ししてもらわないと、いえば「ケツを蹴られな」と「何もできないのだ」と痛感している次第。それがだめだと落ち込んでいるわけではないです。事実として受け止めているだけです。

息まいて発足した写真サークル「ゆるゆる」も2年近く休会状態。この会を発足した時に、真っ先に参加すると手をあげてくれ、誰よりも楽しみにしていただく方々が2年前にお浄土に還られた。途端、なんだか勢いが減速して、このていたらしく。そう考えると、自分で作って、自分が中心でやっていたような気がしていたが、何のことはない、参加してくれていた方々の後押しだけでやれていたことを痛感。「参加者が皆無でも、ひとりでも計画してやりますよ！」なんて言っていたけれど、ひとりではできないのよねえ。わたしはこうしたいです、という時に、それに乗ってくれる人、後押ししてくれる人、そうした人々に支えられてあるのだ、なんてことをいまさらながら実感。

人間のありようは、そうしたお互いの確認の上で成り立っているのだと思う。

法話をするとき、「自分自身もその話を聴聞する一人」であることを大事に法話なさい、とよく言われる。お釈迦さまの最初の法話は五人の修行者にされたと言われている。その五人の中には釈迦自身も含まれている、という学説もあるようだ。それは、自ら語り、自らその法を聞くことの大事、という意味がある。とは言っても、誰もいないところで法話ができないし、聞いてくださる人がいて、自分勝手な解釈、自己矛盾や自己満足、自己陶醉、自意識というものに気付かせてもらえる。

他人に対して私を感じる事ができ、他人がいてくれればこそ私は存在を確認でき、何かすることが出来る。それが人間という生き方だと思う。

昨年、「ゆるゆる」やってよ、という声を聞きながら、結果、無視してしまつた私。今年はやりませ。喜んでくださる人がいるから、という理由をつけさせてもらって、何のことはない、自分がケツを蹴られて、結果、やってよかったあ、と思いたいか。四月九日(月) 決行予定 (、) ☆ 副住職

かつて人間は食べるために働いた。文明が進み安定して食料が得られるようになるのと妙なことに働くことに生きる意義を見出してしまった。それでも労働の対価としてサラリーを得、生活の糧としてきた。しかしこの先人工知能やロボットの技術が進むと働かなくても食を得られる世になる。労働に意味を見出せなくなる。

そんな時代はちょっと前に考えていたよりずっと早く来そう。これは今まで私たちが当たり前と思ってきた価値観の大転換になる。人にしかできない事が求められる時代になる。ではその「人」って何だろう。機械から私たち人間がその在り方を問われる。たとえ明確な答えが無くてもそこを普段から考えて行かないと便利がゆえに機械に依存し機械に支配されてしまう。現に携帯、スマホが便利故、それに依り私の生活はとて忙しくなってしまった。

お寺は今の私の在り方を考える場所です。各講座の座談会で喧々諤々とまた住職や副住職と個人的にでも気が向いたら足を運んでください。

### 住職からのお願い

今東京では火葬場が不足しています。皆さんご経験のとおり通夜葬儀の日程はお寺の都合より火葬場の都合が優先されてしまいます。その為ご法事の時間のお約束を頂いていても変更をお願いすることがあります。葬儀をお勤めすることはそのお家の方にとって一生の一大事

です。そこは相身互い、どうかご寛恕下さいますようお願い致します

### 定例行事

**開法会** 毎月2日夜7時から 現在、鉛筆写経（親鸞和讃）とお話、座談会をやっています（1月、8月はお休み）

**歎異抄を読み聞く会「微妙音」** 毎月5日午後2時

（1月、8月はお休み）

**白色白光の会（婦人会）** 毎月第2木曜午後1時  
お経（正信偈）の練習と法話と茶話会

**「照久会」浄土真宗初めて講座** 二月、四月、六月、十月、十二月の第2土曜午後2時より5時まで（参加費 2千円、照久会会員は千円）講師 聞成寺 佐竹貫裕師

**仏像なぞり書き「仏像描くぞう」**

**第2水曜** 夜7時半と月の最終日曜朝9時からやっています。  
参加費三百円（初回のみ別途テキスト代千円）

照久山 順正寺

練馬区石井町3-1-4

03-3996-2064

# 平成三十年度「定例行事」と「年間法要」のご案内

- \* 聞法会・・・毎月2日 午後7時（1月、8月は休み）
- \* 婦人会「白色白光の会」・・・毎月第2木曜 午後1時（8月は休み）
- \* 『歎異抄(たんにしょう)』を読み聞く会（グリーンケアの会）  
毎月5日 午後2時  
（1月、8月は休み・9月は都合により4日2時から）
- \* 照久会 浄土真宗はじめて講座（定員15名・申し込み順）  
会費制（会費 照久会会員1000円／会員以外2000円）  
2・4・6・10・12月の第2土曜日 午後2時
- \* 仏像なぞり書き「仏像描くぞう」  
毎月第2水曜日午後7時半（冬季は午後6時）と  
毎月最終日曜日午前9時（冬季は午後3時）  
参加費 300円（初回に別途テキスト代1,000円）

---

・修正会（お初座）	1月 7日（日）	午後1時
・春季彼岸会 結願法要	3月24日（土）	午後1時
・永代経法要	5月 6日（日）	午後1時
・盂蘭盆法要	7月16日（月）	午後6時
・秋季彼岸会 結願法要	9月26日（水）	午後1時
・報恩講法要	11月 3日（土）	午後1時

照久山 順正寺 ホームページ

<http://junshoji.net/>

照久山 順正寺 Facebook ページ

<http://www.facebook.com/Junshouji/>



# 平成三十年度 年 回 表

一 周 忌	平成二十九年
三 回 忌	平成二十八年
七 回 忌	平成二十四年
十三 回 忌	平成十八年
十七 回 忌	平成十四年
二十三 回 忌	平成八年
二十七 回 忌	平成四年
三十三 回 忌	昭和六十一年
三十七 回 忌	昭和五十七年
五十 回 忌	昭和四十四年

\*今般、家族葬など葬儀の事情により、土曜、日曜に葬儀を執行する事が多くなりました。ご法事の予約はなるべく重ならないようにスケジュールを組んでおりますが、場合によって時間の変更をお願いする事もあります。誠に申し訳ない事ですが、こればかりは相みたがいということと、ご了承くださいませますようお願い申し上げます。